

札幌市教育振興基本計画

札幌市教育ビジョン
【2014～2023（平成26～35年度）】

札幌市教育アクションプラン
【2014～2018（平成26～30年度）】

概要版



札幌市教育振興基本計画の概要

計画策定の背景・趣旨

市民一人一人が生涯にわたって学び続け、時代の変化に対応できるよう、各発達段階の「縦」の接続をより円滑にし、学校、地域、企業等の「横」の連携を強化することがこれまで以上に重要です。そのため、幼児期から生涯を通じて一貫した教育理念を掲げ、社会全体でその実現に向けた機運を醸成する必要があります。

この計画は、このような背景から、今後の教育の目標や方向性を明らかにするとともに、これらに基づく教育に関する施策を総合的・体系的に進めていくことを目的として策定したものです。

計画の位置付け

教育基本法第17条第2項に規定される、地方公共団体が策定する教育の振興のための施策に関する基本的な計画です。

計画の対象範囲

札幌市教育委員会の所管する市立の幼稚園、小・中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の学校教育及び幼児から高齢者までの生涯学習全般を対象としています。

計画の構成と計画期間

今後10年間を見据えた基本理念を示す「札幌市教育ビジョン」【計画期間：平成26～35年度】と、5年間で取り組む教育施策を示す「札幌市教育アクションプラン（前期・後期）」【計画期間：（前期）平成26～30年度、（後期）平成31～35年度】で構成します。

札幌市教育振興基本計画

札幌市教育ビジョン（平成26～35年度の10年間）

- 札幌市の教育が目指す人間像
- 人間像を実現するための3つの基本的方向性

札幌市教育アクションプラン（前期）

（平成26～30年度の5年間）

- 5年間で取り組む教育施策
（14の基本施策-37の施策-116の事業・取組）

※札幌市教育アクションプラン（後期）は平成31～35年度の計画として、30年度に策定する予定。



教育を取り巻く現状と課題（札幌市の主な課題）

■学ぶ力

札幌市の子どもは、各種調査の結果などから、「基礎的・基本的な知識・技能」はおおむね身に付いています（図表1）が、全国的な傾向と同様、「学ぶ意欲」の向上に課題が見られる（図表2・3）とともに、「思考力・判断力・表現力等」に関しては、「与えられた条件を基に筋道を立てて考え、記述すること」や「事実を基にして自分の考えをもつこと」などの問題で、誤答率・無回答率が高い状況にあります。

図表1 全国学力・学習状況調査の結果概要（平成25年度調査）

小学校	教科	領域	(A)	(B)
国語		話すこと・聞くこと	△	◆
		書くこと	◆	◆
		読むこと	◇	◇
		言語事項	◆	◆
算数		数と計算	◆	◆
		量と測定	◆	◆
		図形	◇	◆
		数量関係	◆	◆

中学校	教科	領域	(A)	(B)
国語		話すこと・聞くこと	◇	設問なし
		書くこと	◇	△
		読むこと	◇	◇
		言語事項	◇	△
数学		数と式	◇	◇
		図形	◇	◇
		関数	◇	◇
		資料の活用	△	◇

注：(A) 主として知識に関する問題、(B) 主として活用に関する問題

【記号の意味】 全国平均正答率と比較して

- | | | |
|------------------|------------------|---------|
| (△) 3割を超えて上回っている | (◇) 0.1～3割上回っている | } ほぼ同程度 |
| (▽) 3割を超えて下回っている | (-) 同程度 | |
| | (◆) 0.1～3割下回っている | |

図表2 TIMSS2011における質問紙調査(平成23年度調査)

－勉強が楽しいと思う子どもの割合(%)－

		日本	国際平均
		小学校4年生	算数 73
	理科 90	88	
中学校2年生	数学 48	71	
	理科 63	80	

－勉強が好きな子どもの割合(%)－

		日本	国際平均
		小学校4年生	算数 66
	理科 83	86	
中学校2年生	数学 39	66	
	理科 53	76	

<資料>文部科学省

図表3 全国学力・学習状況調査における質問紙調査

－国語、算数・数学、理科の勉強が好きなお子さんの割合(%)－

		札幌市	全国平均
		小学校6年生	国語 58.8
	算数 63.9	66.2	
	理科 83.9	81.5	
中学校3年生	国語 59.6	57.7	
	数学 56.1	55.5	
	理科 65.5	61.6	

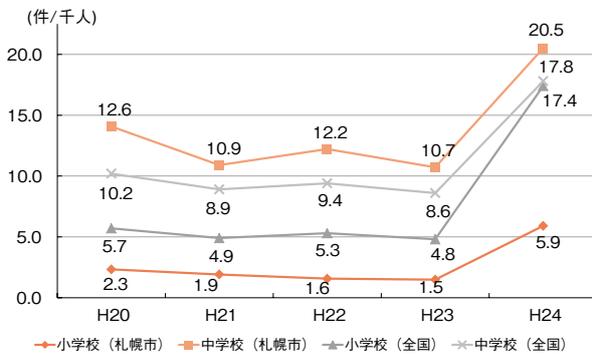
※国語、算数・数学は平成25年度調査、理科は平成24年度調査

<資料>文部科学省、札幌市教育委員会

■いじめ・不登校

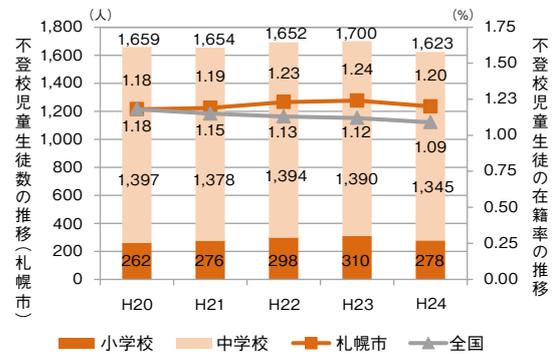
いじめや不登校、子どもの自殺等の問題に対しては、命を大切にする指導の充実やいじめの問題の未然防止・早期発見・早期対応に向けた取組の充実、関係機関との連携体制や相談・支援体制の強化などを図っていますが、全国的な傾向と同様、札幌市においてもこれらの問題は、引き続き喫緊の課題となっています(図表4・5)。

図表4 いじめの認知件数の推移(千人当たりの認知件数)



<資料>文部科学省、札幌市教育委員会

図表5 不登校児童生徒数及び在籍率の推移

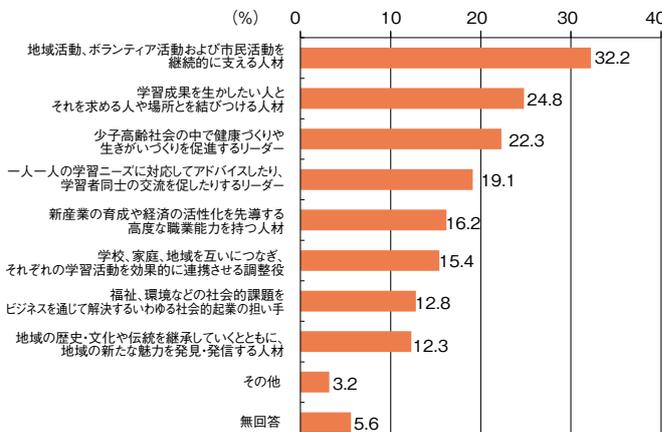


<資料>文部科学省、札幌市教育委員会

■生涯学習を通じたまちづくりの支援と学校教育との連携

これからの生涯学習は、個人の学習ニーズの充足だけでなく、学んだ成果を地域に生かす取組、地域のまちづくりを担う人材の育成支援などが必要です(図表6)。また、地域ぐるみで子どもを育てるため、学校図書館の運営支援や地域への開放など、学校・地域・家庭が一体となり、地域ぐるみによる学校教育支援の取組を推進してきましたが、活動の担い手不足や活動の不活性化などの傾向が見られ、学校教育と生涯学習が連携した子どもの健全育成に向けた仕組みの再構築を図ることが必要です。(図表7)

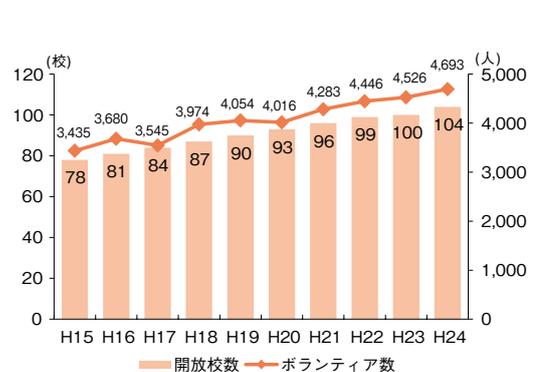
図表6 どのような人材を育成していくべきか(平成22年度調査)



注:「札幌市の生涯学習をより一層充実させるために、札幌市は今後どのような人材を育成していくべきかと考えますか。」に対する回答。回答は二つまで選択可能。

<資料>札幌市

図表7 学校図書館の地域開放を行っている学校数及びボランティア数の推移



<資料>札幌市教育委員会

札幌市の教育が目指す

今後10年間の「札幌市の教育が目指す人間像」を次のとおり掲げ、

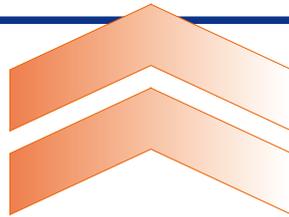
＜札幌市の教育が目指す人間像＞

「自立した札幌人」

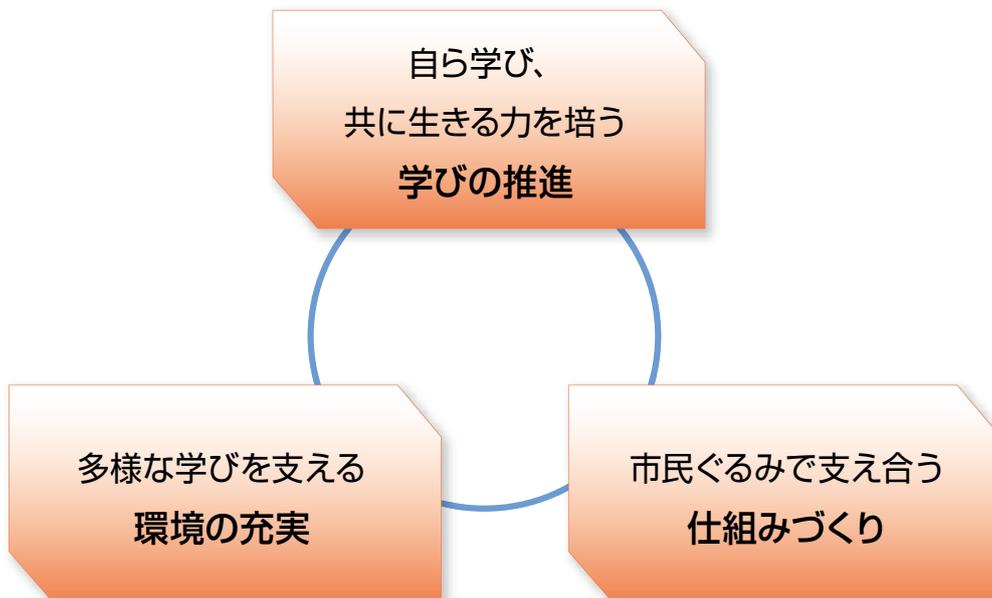
未来に向かって 創造的に考え、主体的に行動する人

心豊かで 自他を尊重し、共に高め合い、支え合う人

ふるさと札幌を心にもち、国際的な視野で学び続ける人



＜基本的方向性＞



人間像と基本的方向性

その実現のため、3つの基本的方向性から教育施策を展開していきます。

「自立した」 とは？

「自立した」とは、まずは、自己肯定感や自己有用感をもつことです。

そして、発達段階に応じて、様々な社会体験を通じ、自らの人生を自らの責任で引き受け、一人の人間として生きる自覚をもち、未来に向かって行動していくことです。

さらに、本計画では、他者を自分と同じ「自立した存在」として尊重し、共に支え合いながら生きていく「共生」の思いを併せもつことをも含みます。

「札幌人」 とは？

「札幌人」とは、札幌の豊かな自然や社会、文化の中で、学び、生活した経験をもつ者が、その恵まれた環境の中で育まれる創造力や豊かな心などの総合的な素養を生かし、ふるさと札幌への思いを心にもち、伝統や文化を尊重しながら、国際的な視野をもって、札幌をはじめ様々な地域や国で活躍する人のことです。

「自立した札幌人」の実現には、「自ら学び、共に生きる力を培う学び」を推進することが要となります。また、学びの推進に当たっては、市民に学びの場と機会を保障する観点が不可欠であり、「多様な学びを支える環境」を充実させる必要があります。さらに、真にこの人間像を実現するためには、一人一人の生涯にわたる学びと実践の循環を生み、ひいてはまちづくりの活力の源となる「市民ぐるみで支え合う仕組み」を作り上げることが大切です。

● 「学びの推進」について

今後10年を見据えたとき、人間像を実現するためには、情報化や国際化の進展など社会情勢の大きな変化により、知識の多様化や陳腐化が一層進行する状況を踏まえ、学校の卒業をもって「学び」が終了するのではなく、幼児期から生涯にわたって学び続けることが必要です。

そのためには、市民が、自ら生きていく中で「学び」を主体的に捉えることができるよう、学校教育の段階から、連続した学びの体制を整備するとともに、札幌の自然や社会、文化等の豊かな環境を生かしながら、「学ぶ力ー知」「豊かな心ー徳」「健やかな身体ー体」の調和のとれた「生きる力」を育むことが大切です。

あわせて、学校教育と生涯学習の「学び」の垣根を低くして、子どもから大人までの様々な世代が、地域や社会に主体的に関わりながら、共に学ぶ体験を積み重ねるなどして、「共に生きる力」を培うことが重要となります。

札幌市教育アクション

札幌市教育ビジョンで掲げた「札幌市の教育が目指す人間像」及び3つの基本

基本的方向性	基本施策	施策
1 自ら学び、共に生きる力を培う学びの推進	1-1 自ら学ぶ喜びを実感できる学習活動の推進	授業づくり 1-1-1 分かる・できる・楽しい授業の推進 重要
		幼児教育 1-1-2 幼児期の学校教育の推進
		食育・体力 1-1-3 健康的な心身の育成と主体的に運動やスポーツに親しむ機会の充実 重要
		理科・科学的な考え方 1-1-4 科学的リテラシーを育む学びの充実 重要
		進路探究学習 1-1-5 自分らしい生き方を実現するための進路探究学習の充実 重要
		読書、情報教育、体験学習 1-1-6 生涯にわたる学びの基盤を育む学習の充実
		1-2 共に生きる喜びを実感できる学習活動の推進
	人権教育等 1-2-2 豊かな人間性や社会性を育む学びの充実	
	環境教育・平和 1-2-3 未来へつなげる思いを育む学びの充実	
	1-3 ふるさと札幌のよさを実感し、豊かな創造力を育む学習活動の推進	札幌らしい特色ある教育 1-3-1 札幌らしさを実感する学びの充実 重要
		国際性 1-3-2 国際性を育む学びの充実 重要
	1-4 一人一人が学び育つための特別支援教育の推進	教育的ニーズに応じた教育 1-4-1 一人一人の多様なニーズに応じた教育の充実
		継続性・一貫性のある支援 1-4-2 早期から成人に至るまでの継続した相談・支援の充実
	1-5 継続的・自発的な学習活動を支援する総合的な生涯学習の推進	生涯学習活動の促進 1-5-1 総合的・体系的な学習機会の提供と自発的な学習活動の促進
		図書館の読書・学習環境 1-5-2 図書館における読書・学習環境の充実
	1-6 学びの場の連携の推進	子どもの異年齢交流 1-6-1 異校種体験・異年齢間交流の充実
		教職員の異校種交流 1-6-2 校種間の連携による継続性のある教育活動の充実

プラン（前期）の施策体系

的方向性に基づき、今後5年間で 14 基本施策、37 施策を展開していきます。

※ **重要** は重要項目に関する施策（この5年間で特に力を入れていく取組。次頁以降参照。）。



札幌市教育アクションプラン（前期）における9つの重要項目

1 分かる・できる・楽しい授業の推進（施策1-1-1）

「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」を実行し、「学ぶ意欲」「学んだ力（基礎的・基本的な知識・技能）」「活かす力（思考力・判断力・表現力等）」の「学ぶ力」の3要素をバランスよく育みます。

- 「学ぶ力」の3要素をバランスよく育むため、教育委員会、学校、家庭、地域が一体となった取組を進める「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」の実行。
- 各学校が自校の子どもの状況を踏まえて作成・実行する「『学ぶ力』育成プログラム」を中核とした「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の充実。子どもが自分への自信がもてるような授業の工夫・改善。
- 子どもの自己評価を生かした全市共通の評価指標の導入によるPDCAサイクルの確立。

2 課題探究的な学習の推進（施策1-1-1、1-1-4）

「科学的リテラシーを育む学び」や国際バカロレアのプログラムを切り込み口として課題解決能力を育みます。

- 「科学的リテラシーを育む学び」の推進による、「予想や仮説を基に観察・実験を行い、その結果から考察する」というサイクルの実践。知識・技能と活用を結ぶ学習モデルの確立。
- 市立札幌開成中等教育学校における、**国際バカロレアのプログラムを活用した課題探究的な学習モデル研究の推進**及びこれを生かした全市立学校における思考力・判断力・表現力や国際感覚、課題発見解決力等を育成する学習の充実・発展。

3 体力向上の推進（施策1-1-3）

生涯を通じて運動に親しむための基礎を培うとともに、積極的に心身の健康の保持増進を図る資質や能力を育みます。

- 「さっぽろっ子『健やかな身体』の育成プラン」を踏まえた、運動に親しむための工夫・環境づくり等や体育等の授業改善の取組による、各学校での体力向上に関わる指導の充実。運動部活動の充実に向けた検討と取組の一層の推進。
- 札幌の自然環境を生かしたウィンタースポーツの充実や、家庭や地域と連携した雪かきの取組などによる体力向上の推進。

4 進路探究学習の充実 (施策1-1-5)

将来の生き方や進路について考える「進路探究学習」を通じて、広い視野から社会や職業を捉える力を培うとともに、自己肯定感や自己の実現に向けた意欲を育みます。

- 「進路探究学習」の一層の推進。職業体験などの社会体験の機会拡大による、広い視野から社会や職業を捉える力の育成。
- 将来への夢や社会で活躍する自分のイメージを描くことによる、その実現に向けた意欲や自己を肯定的に捉える気持ちの育成。

5 命を大切にす指導の充実 (施策1-2-1)

自分や他者の生命を尊重する態度を育むとともに、子どもの心のサインに気づき、的確に対応する指導の充実を図ります。

- 道徳の時間を要とした、学校の教育活動全体を通じた**道徳教育や体験活動**の充実による、命の大切さを実感し、自分や他者の生命を尊重する態度を育む取組の推進。
- 教職員をはじめとした子どもの周りにいる大人が、悩んでいる子どもの心のサインに気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ見守るなどの的確な対応を行う「命を大切にする指導」の更なる充実。

6 札幌らしさを実感するとともに国際性を育む学びの充実 (施策1-3-1、1-3-2)

「札幌らしい特色ある学校教育（雪、環境、読書）」や「国際性を育む学び」を通して、心の中にふるさと札幌の意識をもちながら、幅広い視野に立って物事を考えていく力を育みます。

- 札幌の素晴らしい自然環境・人的環境・文化的環境などを生かした**札幌らしい特色ある学校教育（雪、環境、読書）**の推進、並びに我が国の伝統や文化などに加え、ふるさと札幌を学ぶ**機会**の充実。
- 外国語や異文化に触れるなどの**国際性を育む学び**を通じた多文化共生の意識や国際的な視野の育成。

トピックス



※ このキャラクターは、札幌の子どもたちが「札幌らしい特色ある学校教育」の【雪】【環境】【読書】にかかわる学習に親しみをもって取り組めるように2010年に誕生しました。
左から、雪キャラクター「ゆっぼろ」、環境キャラクター「ちっきゅん」、読書キャラクター「おっほん」。

7 「知の拠点」としての図書館の充実（施策2-3-2）

（仮称）絵本図書館や都心にふさわしい図書館の設置などにより、「知の拠点」として、生涯にわたる市民の生活や創造的な活動を支えます。

- 幼児や保護者が落ち着いて読書を楽しめる場となる（仮称）**絵本図書館の設置**（白石区複合庁舎内、平成28年度供用開始予定）。
- ビジネスや多様な課題解決に役立つ情報、札幌の魅力や街の情報などを提供する都心の知的空間としての**都心にふさわしい図書館の設置**（平成30年度供用開始予定）。

8 子どもが安心して学べる支援や対応の充実（施策2-5-1、2-5-2）

いじめ・不登校などの未然防止や早期発見・早期対応を行うため、子どもが安心して通える校内支援体制を構築するとともに、子どもの悩みや不安感を解消するための相談及び居場所づくりを推進します。

- 不安や悩みを抱えている子どもの思いを共感的に受け止め、悩みが深刻化しないように助言や声かけを学校全体として組織的に行うなど、学校が一体となって対応する**校内支援体制の構築**。
- アンケートの活用や教職員間の連携等による子どもの小さな変化への気付きと適切な対応及び心のサポーターの活用などによる関係機関等と連携した子どもへの適切な働きかけ。
- **2か所目の教育支援センターの設置**など、子どもの悩みや不安感を解消するための相談や居場所づくり。

9 地域に開かれた学校（施策3-1-1）

サッポロサタデースクール事業の実施や学校施設の複合化の検討など、地域と学校の協力関係を構築し、地域全体で子どもを育てる環境を醸成します。

- 土曜日などに地域の多様な経験や技能をもつ人材・企業等の豊かな社会資源を活用した学習支援や地域の伝統文化体験活動等のプログラムを行う**サッポロサタデースクール事業**の実施。
- 地域や家庭へ情報を発信し連携を深めることによる、学校は地域に開かれ、地域は学校を支える協力関係の構築。
- 子どもの地域への関心の向上、地域住民の生涯学習の場や子どもから高齢者までが集う多世代交流の場としての相乗効果が期待できる**学校施設と他の市有施設との複合化**についての検討。
- 学校と地域の交流による、地域全体で子どもを育てる環境の醸成、子どものコミュニケーション力や地域への愛着の心の育成、地域づくりの担い手の育成。

計画の推進体制と進行管理

推進体制

- ◇**関係機関等との連携**～札幌市の関係部局と組織横断的な取組を展開するとともに、国、北海道、その他関係機関等と連携協力を図ります。
- ◇**市民との連携**～家庭、地域、教育関係機関、ボランティア、企業などの協力と参画を得て、教育の更なる充実を目指します。

進行管理

PDCAサイクルの考え方に基づき、毎年度、成果や課題を評価・検証し、その結果を次年度の施策の推進や改善に反映させていきます。また、PDCAサイクルを効率的・効果的なものとするため、成果指標を21項目設定し、成果を客観的に検証した上で、明らかになった課題等をフィードバックしていきます。

<成果指標一覧>

	成果指標	現状値（※）	目標値（H30）
1	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している子どもの割合	小6 71.2% 中3 65.7% 高2 61.0%	小6 76.0% 中3 72.0% 高2 67.0%
2	将来の夢や目標をもっている子どもの割合	小6 85.7% 中3 71.5% 高2 75.9%	小6 89.0% 中3 77.0% 高2 79.0%
3	1週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合	小5男 7.7% 小5女 19.3% 中2男 13.1% 中2女 35.8%	小5男 7.0%未満 小5女 18.0%未満 中2男 8.5%未満 中2女 30.0%未満
4	読書が好きなお子どもの割合	小6 74.5% 中3 76.3% 高2 73.4%	小6 78.0% 中3 78.0% 高2 75.0%
5	自分にはよいところがあると考えている子どもの割合	小6 73.3% 中3 67.4% 高2 65.9%	小6 78.0% 中3 76.0% 高2 74.0%
6	人の役に立つ人間になりたいと考えている子どもの割合	小6 67.8% 中3 68.3% 高2 55.4%	小6 78.0% 中3 78.0% 高2 66.0%
7	札幌には、好きな場所やものがあると答えた子どもの割合	小5 90.8% 中2 84.3% 高2 84.0%	小5 95.0% 中2 90.0% 高2 90.0%
8	外国の人と交流したいと思う子どもの割合	小5 80.7% 中2 62.6% 高2 68.5%	小5 85.0% 中2 68.0% 高2 73.0%
9	特別な教育的支援を必要とする子どもの個別の教育支援計画を作成している幼稚園、学校の割合	59.3% (H24年度)	100%
10	さっぽろ市民カレッジの受講に満足している受講者の割合	81.0% (H24年度)	90.0%
11	図書館の利用に満足している利用者の割合	87.0% (H24年度)	90.0%
12	子どもが参加する校種間連携を実施している学校の割合	小学校 74.8% 中学校 99.0% 高校 87.5%	小学校 100% 中学校 100% 高校 100%
13	子どもが自ら身を守ろうとする態度や能力を育む安全教育を実施した学校の割合	小学校 87.6% 中学校 73.2% 高校 75.0%	小学校 100% 中学校 100% 高校 100%
14	市立小中学校における特別支援学級の整備率	小学校 81.4% 中学校 65.7%	小学校 85.0% 中学校 70.0%
15	生涯学習関連施設の利用に満足している利用者の割合	85.9% (H24年度)	90.0%
16	研修の成果を活用できると答えた教職員の割合	94.7%	100%
17	いじめなどの不安や悩みを身近な人などに相談する子どもの割合	小学校 92.1% 中学校 82.2% 高校 80.7% (H24)	小学校 95.0% 中学校 88.0% 高校 86.0%
18	不登校児童生徒の在籍率（出現率）	1.20% (H24年度)	1.10%未満
19	授業や校務にICTを効果的に活用できる教員の割合	65.0% (H24年度)	77.0%
20	保護者や地域の方の学校支援ボランティア活動を学校の教育水準の向上に効果的に活用している学校の割合	小学校 91.1% 中学校 74.5%	小学校 95.0% 中学校 88.0%
21	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合	小6 74.3% 中3 65.9%	小6 80.0% 中3 70.0%

※現状値の後ろに（H○年度）の表記があるものは平成○年度調査結果。表記のないものは平成25年度調査結果。



札幌市教育振興基本計画《概要版》

【札幌市教育ビジョン・札幌市教育アクションプラン（前期）】

平成26年（2014年）3月発行

編集・発行 札幌市教育委員会生涯学習部総務課企画調整担当
〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目STV北2条ビル
TEL (011) 211-3829 FAX (011) 211-3828

※表紙デザインは、
札幌平岸高等学校
デザインアートコース3年生
阿部 季織さんの作品です。



「環境首都・札幌」宣言



さっぽろ市
01-S01-14-211
26-1-27

札幌市教育振興基本計画

札幌市教育ビジョン
【2014～2023（平成26～35年度）】

札幌市教育アクションプラン
【2014～2018（平成26～30年度）】

概要版

